

ポーランド政治・経済・社会情勢 (2013年1月10日～16日)

平成 25 年(2013 年)1 月 18 日

H E A D L I N E S										
<p>政治 ドンブロスキ野党下院議員(SP)が与党(PSL)に移籍 外務省がマリ情勢を懸念する声明発出 EU共通安全保障防衛政策に関するV4代表者会合が開催 シェモニャク国防相が軍近代化施策についてインタビューで説明 大統領がクラクフの2022年冬期オリンピック立候補についてチェコ及びスロバキアと協議 首相, アラブスキ首相府長官のスペイン大使転出に反対せず コパチ下院議長がエストニアを訪問</p>										<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先：大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもご</p>
<p>経済 1グロシエ, 2グロシエ通貨の流通を廃止 地域間の賃金格差が広がる 12月のインフレ率は2.4% 経済省がポーランド製家具のブランド名を考案するキャンペーンを開始 2012年の鉄鋼生産量及び消費が前年比で減少 ビエドロンカの業績が好調 高級車販売が上昇 高速道路工事の新規発注なし BASF社がレグニツァ近郊に投資 LOT社のドリームライナーがシカゴ空港に留め置き PSEオペレーター社が電力網の近代化に100億ズロチ投資 ウォーリー・パーソンズ・グループがPGE社の原子力調査に関する事業を落札 原子力発電所建設候補地は1年後に明らかになる見込み</p>										
<p>大使館からのお知らせ ヴロツワフにおける領事出張サービスについて ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p>										
<p>在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>										

政	治
内	政

ドンブロスキ野党下院議員(SP)が与党(PSL)に移籍【10日】

10日、ドンブロフスキ野党「連帯ポーランド」(SP)

下院議員は、同党を離党し、連立与党である農民党(PSL)に加入。同移籍により、SP議員数は17人、PSL議員数は29人となった。

外	交
---	---

外務省がマリ情勢を懸念する声明を発出【12日】

12日、外務省はマリの軍事紛争に懸念を表明する声明を発表。

しては米国と協議する必要がある、時期は未定」と説明。ロシアの反応に関しては、「彼らが脅威として捉えているのはミサイル防衛システムであると考えている」と回答した。

EU共通安全保障防衛政策に関するV4代表者会合が開催【12～13日】

12日～13日、ヴィシエグラード・グループ(V4)4か国(V4:チェコ・ハンガリー・スロバキア・ポーランド)の安全保障代表者が、ポーランド南部・ヴィスワ(Wisla)におけるEU共通安全保障防衛政策(CSDP)に関する会合に参加。コジェイ国家安全保障局長官は、欧州の安全保障強化に対するV4諸国の役割を強調するとともに、V4諸国の優先事項をEU・CSDPに反映させるため、さらなる協議の必要性を訴えた。

大統領がクラクフの2022年冬期オリンピック立候補についてチェコ及びスロバキアと協議【14日】

14日、コモロフスキ大統領は、クラクフが2022年の冬期オリンピックに立候補している問題について、来週チェコ及びスロバキア大統領と協議すると述べるとともに、本問題に関する決定には3か国の政府合意が必要との認識を示した。

シェモニャク国防相が軍近代化施策についてインタビューで説明【14日】

14日付ガゼタ・ヴィボルチャ紙は、シェモニャク国防相のインタビュー記事を掲載。同国防相は、昨年末公表の軍近代化計画に含まれていた米国製AGM-158JASSM空中発射型巡航ミサイルの購入に関し、「F-16戦闘機が持ちうる能力の一部であり、抑止力としての役割を果たすもの。実際の導入に関

首相、アラブスキ首相府長官のスペイン大使転出に反対せず【15日】

15日、トゥスク首相は、シコルスキ外相がアラブスキ首相府長官をスペイン大使に推薦している件について反対しないと述べた。

コパチ下院議長がエストニアを訪問【16～17日】

16日、コパチ下院議長は、エストニアを訪問し、エストニア議会議長と会談し、EU予算及びEUの将来について意見交換した。また、17日にはイルヴェス大統領とも会談予定。

経	済
---	---

経済・財政政策

1グロシエ、2グロシエ通貨の流通を廃止【16日】

中央銀行は、現金支払いを5グロシエ単位で丸める法案が成立することにより、年間40百万ズロチにのぼる2グロシエ、1グロシエの鋳造コストの削減を期待している。法案は中央銀行によって準備

され、すでに財務省に提出されている。中央銀行幹部は、鋳造コスト軽減のみならず市民の買物の支払いをより簡素化させるのに役立つと指摘している。

マクロ経済動向・統計

地域間の賃金格差が広がる【15日】

2012年のカトヴィツェの平均所得は、前年比170ズロチ上昇し、4,962ズロチとなり国内で最高賃金となった。ワルシャワでは188ズロチ上昇の4,804ズロチ。カトヴィツェの平均所得の急激な上昇の背景には、鉱山企業の所得上昇がある。巨大企

業が進出していないビャウイストク、ジェロナ・グラ、ゴジュフ・ヴィエルコポルスキ等では平均賃金が2,900ズロチから3,100ズロチである。専門家は、経済減速が、さらに賃金格差を広げ、未開発地域では更に厳しい状況になると予測している。

12月のインフレ率は2.4%【15日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の平均物価上昇率(CPI)は、前年同月比2.4%増となり、先月(同2.8%増)に引き続き中央銀行(NBP)の目標値2.5±1%に収まっている。前年比では0.1%増。専門家の予想は前年同月比2.5%増、前

月比0.1%増であった。なお、財務省は賃金上昇圧力がなくエネルギー価格が安定していることを理由に、2013年のインフレ率は1.5%以下になる可能性もあると示唆している。

ポーランド産業動向

経済省がポーランド製家具のブランド名を考案するキャンペーンを開始【10日】

経済省が外国におけるポーランド製家具のブランド名を考案する促進キャンペーンを開始した。ポーランドは、中国、ドイツ、イタリアに次ぐ世界第4位の家具輸出国で、約90億ドル相当の家具を輸出しており、パリのエリゼ宮の椅子やアップル・ショップの棚などがポーランド製となっているが、その多くが外国のブランド名で販売されている。家具製造協会のTwarog会長は、ポーランド製家具は国際市場において、最高級品質、完璧なデザイン及び高い認知度に特徴づけられるが、これらの事実、卸売業者の間でしか知られておらず、最終消費者や小売業者には殆ど知られていないと不満を述べており、ポーランド製家具のブランド名やロゴを考案する必要性を主張している。なお、ポーランド製家具の90%はドイツに輸出されており、輸出先の多角化も必要である。

2012年の鉄鋼生産量及び消費が前年比で減少【10日】

冶金工業協会によれば、ポーランドの昨年の鉄鋼消費は1,030万トンで、前年比7%減となった。消費量の半分以上が輸入されている。また、鉄鋼生産量は850万トンで、前年比約2%減となったが、近隣国やEU全体と比較すれば、僅かな落ち込みであった。消費及び生産の減少は昨年の経済成長の減速を反映しており、特にインフラ・プロジェクトや自動車産業といった大手需要産業が落ち込んでいる。

ビエドロンカの業績が好調【11日】

2012年、ビエドロンカを所有するジェロニモマーチン社は、前年比10.5%増となる109億ユーロの収益を上げた。好調な業績の大部分はポーランド国内のビエドロンカによる貢献であり、前年比16.3%増の67.3億ユーロの収益を上げている。2012年に263店舗を新規開店したビエドロンカは、2013年、新たに20億ユーロの投資を行う予定。

高級車販売が上昇【11日】

経済危機にもかかわらず、2012年の高級車販売は前年比2桁増を記録した。第1位はBMWで、5,555台を販売し、前年比21.9%増であった。第2位、第3位は、メルセデス・ベンツ(5,415台、11.4%増)、アウディ(5,111台、23.5%増)で、ドイツ系3社で16,000台以上を販売している。第4位は日本のレクサスで、前年比2.6%増の557台であった。

高速道路工事の新規発注なし【15日】

昨年、欧州選手権のおかげで293キロの高速道路、330キロの準高速道路が建設されたが、国家道路局(GDDKiA)による2013年の新規の高速道路建設契約の署名は一つもない。建設工事実施中の区間でも工事が延期になり、契約が終了しているところがある。新規建設区間の工事発注は、新たなEU資金が活用できる2014年以降にしき期待できない。

BASF社がレグニツァ近郊に投資【15日】

ドイツの化学製造業のBASF社がレグニツァ経済特別区に新工場を建設することを決定した。同社は約1.5億ズロチを投資、400人以上を雇用し、自動車の排ガス制御システムを製造する予定である。

LOT社のドリームライナーがシカゴ空港に留め置き【16日】

16日、シカゴ空港に着陸したポーランド航空(LOT)社のドリームライナーは、米連邦航空局が同機体のリチウム電池の安全性を点検する包括的検査を行うため飛行が停止された。ワルシャワ空港を離陸した同機体は、シカゴに向けた初めての商業用飛行であった。LOT社広報官は、米連邦航空局の判断を尊重する、と述べつつも、ワルシャワからシカゴへの運行は順調であった、とコメントした。

エネルギー・環境

PSEオペレーター社が電力網の近代化に100億ズロチ投資【10日】

ポーランドの送電網を管理するPSEオペレーター社は、2013年から2017年の間に100億ズロチを投資し、4,500km以上の新規送電線及び約800kmの更新投資を行う。これまで同社は年間数億ズロチを新規送電線の敷設及び既存の電力網の更新に投資してきたが、ポーランドにおける年間停電時間は、ドイツの約12分、デンマークの数分程度に対し、約400分となっている。

ウォーリー・パーソンズ・グループがPGE社の原子力調査に関する事業を落札【10日】

WorleyParsons Nuclear Services JSC, WoreyParsons International Inc.及びWorleyParsons Group Inc.のコンソーシアムが、ポーランド初の原子力発電所建設に係る環境及び立地調査を行う契約を勝ち取った。PGE EJ1社(ポーランド初の原子力発電所の投資を担うPGEグループの特別目的会社)との契約金額は2億5,200万ズロチで、調査には2年以上かかる。契約には、地質学及び環境に係る調査の他、建設に係る許認可の取得に必要な全ての

サービスの提供も含まれる。PGE社はこれまで、ポーランド北西部のゴンスキ(Gaski)、北部のホチェヴォ(Choczewo)及びジャルノヴィエツ(Zarnowiec)の3カ所を建設候補地として選定している。

原子力発電所建設候補地は1年後に明らかになる見込み【15日】

国立原子力研究センターのストウルプシェフスキ教授によれば、ウォーリー・パーソンズ・グループに依頼された調査の結果は1年後に公表され、ポーランド初の原子力発電所の建設地の選択及び承認手続きに用いられるとのことである。同グループとPGE社との契約は2,520億ズロチに達するが、同教授によれば、同グループは最も知見を有する企業の一つであり、良い選択肢であったと評価している。候補地は、ジャルノヴィエツとホチェヴォの2カ所を集中的に調査することになるが、後者の問題はNatura2000プログラムによる自然保護地域に近いこと、前者の場合は十分な冷却水が得られず、予備冷却システムの建設には投資コストが4割増加するとともに、発電能力も約3%減少することである。

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月9日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Wroclaw Panorama(Pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記HPをご覧ください。
http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20121220.html

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について

当館HP上に、「ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)に関する情報を掲載いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/haga_pamphlet.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成25年3月31日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

〔予定〕竹之内淳志氏による舞踏の公演【1月31日(木)19時】

ワルシャワ市「Teatr na Woli」劇場にて、「Pompka」基金主催による、竹之内淳志氏舞踏公演「千の雫、千の花」が開催されます。詳細以下のHPをご覧ください。

http://www.labodram.pl/index.php?option=com_content&view=article&id=1685&Itemid=614

開催場所: Teatr na Woli (住所: ul. Marcina Kasprzaka 22, Warszawa, 電話: 22 632 00 05)

〔予定〕「日本文化デー」ワルシャワ・コスプレ大会&第1回高校生日本語スピーチコンテスト【2月24日(日)】

在ポーランド日本国大使館、ポーランド日本情報工科大学及び日本ポップカルチャー愛好会『アニマツリ』共催の総合日本文化紹介イベント「日本文化デー」～ワルシャワ・コスプレ大会 & 第1回高校生スピーチコンテスト～が開催されます。詳細は以下をご覧ください

コスプレ大会: http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_cosplay.html

スピーチコンテスト: http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_speech.html

開催場所: ポーランド日本情報工科大学 (住所: Koszykowa 85, Warszawa, 電話: 22 58 44 500, Eメール: pjwstk@pjwstk.edu.pl, ホームページ: <http://www.pjwstk.edu.pl/>)

【開催中】 ATOKATA 篠山紀信写真展【11月21日(水)～1月20日(日)】

カトヴィツェの現代美術ギャラリーBWA 主催にて、篠山紀信氏による東日本大震災の写真展「ATOKATA」が開催されています。詳細は以下のHPをご覧ください。

http://www.bwa.katowice.pl/p/306/kishin_shinoyama_atokatalady_wystawa_fotografii/

問合せ先・開催場所: 現代美術ギャラリーBWA (住所: Wojciecha Korfantego 6, Katowice, 電話: 32 259 90 40, ホームページ: <http://www.bwa.katowice.pl/>)

【開催中】「忠臣蔵。47人の浪人」浮世絵展示【11月30日(金)～4月20日(土)】

クラクフ日本美術技術博物館「マンガ」にて、浮世絵展示「忠臣蔵。47人の浪人」が開催中です。

問合せ先・開催場所: 「マンガ」日本美術技術博物館 (住所: ul. Konopnickiej 26, Krakow, 電話: 12 267 37 53, Eメール: muzeum@manggha.krakow.pl, ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl/>)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)